

★ 序章 計画策定の背景

1. 紀美野町の地域特性

(1) 歴史と自然豊かな美しいふるさと

紀美野町は、平成 18 年 1 月 1 日に旧野上町と旧美里町が合併し、新しく誕生しました。町の中央を霊峰高野山を源とする清流貴志川が流れ、南部には町のシンボルである県立自然公園生石高原が広がる自然環境に恵まれた町です。

世界遺産である霊場高野山と歴史的なつながりが深く、多くの名所や旧跡があり、弘法大師にまつわる伝説も残っています。秋のススキが有名な生石高原をはじめ、満天の星空が観られる「みさと天文台」、パークゴルフが楽しめる「ふれあい公園」などの観光施設や宿泊施設も充実しています。



生石高原



ふれあい公園



緑豊かな紀美野町



みさと天文台

(2) 明日の活力を生み出す産業があるまち

特産品のみかんや柿、山椒の栽培などの農業が盛んです。また、伝統産業の棕櫚箒（しゅろほうぎ）の製造なども受け継がれています。地元産の原材料を使った加工品の製造・販売や、豊かな自然を活用した観光産業、新しいアイデアによるコミュニティビジネスも立ち上がってきています。一方で、高齢化による耕作放棄地の拡大や後継者不足、木材価格の低迷などの課題もあります。



柿の収穫



紀美野町の特産品

(3) 移住・定住の促進

本町では、「**きれいな** **み**りよく溢れる **の**どかな町」をテーマに、きみの定住を支援する会が移住希望者の支援事業を展開しています。田舎暮らし希望者の相談窓口「ワンストップパーソン」の設置や、空き家情報の提供、田舎暮らし体験ツアーの開催、移住希望者の短期滞在の支援などを行っており、豊かな自然に魅力を感じた移住者が少しずつですが増えてきています。また、ススキが広がる生石高原や満天の星空などを目当てに多くの観光客も訪れています。



田舎暮らしを体験



きみの定住を支援する会

2. 今後のまちづくりに向けた男女共同参画の必要性

社会経済のグローバル化やライフスタイルの変化などにより、人々の意識は大きく様変わりしてきています。性別による役割分担意識の解消や男女の生き方、暮らし方などに対する世界の標準的な考え方や意識が若い世代を中心に定着してきています。人権意識の高まりのなかで、男女の人権を尊重することも必要になってきています。また、少子高齢化と人口減少が進むなかで、男女がともに責任をもって社会を担わなければ、社会や地域を維持できないという事情も生じてきています。

紀美野町においても、平成 27 年の高齢化率は 44.2%と高い割合を示しています。将来に向けて活力ある町をつくるため、平成 27 年度に「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、その中で若い世代を町に呼び込むとともに、子育てしやすく働きやすく、暮らしやすい町づくりを目指しています。その実現のためには、「男は仕事、女は家庭」というような性別による役割分担ではなく、男女がともに仕事と家庭の調和を図りながら、それぞれに職場や地域、家庭において参画し、その能力を発揮することが必要です。

男女共同参画を推進することは、男女がともに多様な知恵やアイデアを活かし、それぞれの能力を発揮することにつながり、地域が活性化し、生きいきと暮らせるまちづくりが実現できるのです。

